

2023年3月期 3月度 月次売上概況（速報）についてのお知らせ

会社名
株式会社オートバックスセブン
代表者名
代表取締役 社長 堀井 勇吾
間合せ先
(コード: 9832 東証プライム市場)
広報・I R部長 中野 潤
(TEL. 03-6219-8718)

土日祝日日数	前年差異（日）	+ 1	+ 1	- 1	± 0	± 0	- 1	± 0	+ 1	± 0	± 0	- 1	± 0	- 1	± 0	- 1	+ 1	- 1	- 1	- 1	± 0
		22年3月	22年4月	22年5月	22年6月	22年7月	22年8月	22年9月	22年10月	22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
国内売上高 (全業態)	全店前年比 (%)	3.5	6.6	2.4	1.5	2.9	6.8	2.8	6.5	4.4	4.5	3.4	0.6	6.0	4.2	3.7	4.2	5.0	3.6	3.9	4.4
	既存店前年比 (%)	3.3	6.2	2.0	1.5	3.2	6.8	3.1	6.9	4.0	4.2	3.0	0.3	5.8	4.0	3.4	4.3	4.8	3.3	3.9	4.2
国内客数 (全業態)	全店前年比 (%)	0.3	-0.8	-1.6	-1.7	-4.1	-2.5	-5.4	-1.1	-7.0	-3.3	-4.4	-3.3	-1.2	-3.0	-1.3	-4.0	-3.8	-2.9	-2.6	-3.4
	既存店前年比 (%)	0.0	-1.0	-1.8	-1.5	-3.9	-2.5	-5.4	-1.1	-7.3	-3.6	-4.7	-3.5	-1.3	-3.1	-1.4	-3.9	-4.1	-3.1	-2.6	-3.6
客単価 (全業態)	既存店前年比 (%)	3.2	7.3	3.8	3.0	7.3	9.4	9.0	8.1	12.1	8.0	8.0	3.9	7.2	7.3	4.9	8.5	9.2	6.6	6.6	8.0

国内	商品別売上高 既存店前年比 (%)	22年3月	22年4月	22年5月	22年6月	22年7月	22年8月	22年9月	22年10月	22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
主な商品群	タイヤ	23.0	29.9	19.0	2.0	3.2	36.5	7.4	3.9	1.3	4.9	1.9	-6.9	4.9	7.9	19.1	15.3	3.5	1.2	17.2	2.7
	カーエレクトロニクス	-14.7	-18.2	-16.2	-11.1	-7.2	-16.9	-13.3	-2.4	-2.5	-14.1	-15.0	-12.0	-8.2	-11.6	-15.5	-12.1	-6.9	-11.6	-13.8	-9.3
	オイル	3.7	3.7	7.7	8.5	8.1	8.8	6.2	10.0	3.8	4.1	5.3	14.3	14.0	7.8	6.6	7.8	5.9	11.1	7.2	8.4
	バッテリー	6.1	3.2	5.0	2.7	7.6	11.9	6.8	11.3	-4.0	7.8	-0.3	-8.6	2.0	3.7	3.6	8.9	5.1	-2.3	6.6	1.7
	アクセサリー	-9.8	-10.2	-10.8	-8.7	-7.1	-10.8	-11.0	-2.9	-6.3	-8.8	-10.4	-1.2	-0.4	-7.6	-9.9	-9.4	-6.1	-4.0	-9.7	-5.1
サービス		0.6	6.5	3.3	3.3	2.8	5.6	3.6	8.8	5.0	5.6	3.4	5.9	9.5	5.4	4.5	4.0	6.2	6.6	4.2	6.4
	車検・整備	-5.7	-4.7	-4.1	2.0	4.0	1.5	5.5	11.4	8.3	7.6	7.2	8.9	13.0	5.2	-2.2	3.7	9.1	10.0	0.9	9.6
車買取・販売		7.9	25.6	11.9	21.4	31.5	20.7	25.5	29.9	37.0	32.1	31.3	25.5	19.7	26.0	19.6	26.2	33.0	24.6	23.1	28.6

国内店舗数	オートバックス				1				+2/-1	1				-1	496	1	0	2	-1	1	1
	スーパー・オートバックス														74	0	0	0	0	0	0
	オートバックスセコハン市場				-1							-1			4	-1	0	-1	0	-1	-1
	オートバックスエクスプレス														11	0	0	0	0	0	0
	オートバックスカーズ				+1/-1										3	0	0	0	0	0	0
	合計		0	0	0	0	0	0	1	1	-1	0	0	-1	588	0	0	1	-1	0	0

海外店舗数	1	1	2	1	0	4	0	2	+3/-1	0	1	2	78	4	5	4	3	9	7
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	-------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---

2023年3月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+5.8%、全店ベースで+6.0%。

売上増減要素：①既存車のメンテナンス需要を背景に、オイルは二桁伸長。②タイヤ、バッテリーは、堅調に推移し金額前年超え。③車買取・販売は、業販、小売ともに二桁伸長。④土日祝日日数、前年差異±0。

【商品別】 **タイヤ・ホイール：**タイヤの履き替え需要により夏タイヤが堅調に推移し、タイヤ・ホイールは金額前年超え。**カーエレクトロニクス：**ドライブレコーダーなどが低調で、カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル：**既存車のメンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが好調で、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー：**アイドリングストップ車用バッテリーが堅調に推移し、金額前年超え。**アクセサリー：**新車生産台数の回復を背景にインテリアが堅調で、アクセサリー全体は前年同水準で推移。**メンテナンス：**オイルフィルターやエアコンフィルターは好調に推移したものの、ワイヤーが低調で、メンテナンス全体は前年同水準で推移。**カーリペア：**洗車関連用品が好調で、カーリペア全体で金額前年超え。**サービス：**タイヤの履き替え需要によるタイヤ交換工賃やオイル交換工賃などが好調なことに加え、車検対象台数の増加を背景に車検・整備も伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売：**業販、小売ともに好調に推移し、車買取・販売全体で二桁伸長。

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスチェーンの小売売上であり、当社連結および単体の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けしておりません。

・最新データにつきましては、速報値となっています。なお、過去に遡って調整が入る場合もございます。

・「全業態」は、オートバックス（Smart+1、オートバックスガレージ含む）、スーパー・オートバックス（A PIT AUTOBACS含む）、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズです。

・土日祝日日数について、年末年始（12月29日～1月3日）は土日祝日日数としてカウントしています。

2022年4月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+6.2%、全店ベースで+6.6%。

売上増減要素：①タイヤ値上げ前の駆け込みやタイヤの履き替えによる需要増加と戦略的な販売促進策により、タイヤ・ホイールは金額・数量ともに大幅伸長。②新車の減産の影響を強く受け、カーエレクトロニクスやアクセサリーは低調。③車買取・販売は、業販が好調で前年同月に続き二桁伸長。④土日祝日日数、前年比+1。

【商品別】タイヤ・ホイール：タイヤ値上げ前の駆け込みやタイヤ履き替えによる需要の増加に加え、戦略的な品ぞろえや販売促進策が奏功し、夏タイヤやオールシーズンタイヤが好調。同時購入のホイールも順調で、タイヤ・ホイール全体は、金額・数量ともに大幅伸長。**カーエレクトロニクス**：新車の減産による影響でカーナビゲーションの需要が伸びず、カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：3月に実施した値上げによる需要減退が懸念されたものの、効果的な販売促進により、堅調なプライベートブランドオイルに加えてナショナルブランドオイルも伸長し、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：販売促進の強化により、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に堅調に推移し、金額前年超え。**アクセサリー**：新車の減産にともない車内小物やインテリアなど低調で、金額前年割れ。**メンテナンス**：ワイヤーやエアコンフィルターを中心にメンテナンス用品が好調に推移し、金額・数量ともに前年超え。**カーリペア**：洗車関連用品の不調などにより、金額前年割れ。**サービス**：車検・整備は車検対象台数の減少基調により金額前年割れも、タイヤの好調にともないタイヤ・ホイール工賃を中心に伸長し、サービス全体では金額前年超え。**車買取・販売**：中古車の単価上昇や買取台数の増加を背景に業販が好調で、車買取・販売全体では二桁伸長した前年に続き、金額が大幅伸長。

2022年5月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+2.0%、全店ベースで+2.4%。

売上増減要素：①タイヤ値上げ後の反動減が見込まれたものの、戦略的な販売促進などにより、タイヤ・ホイールは金額前年超え。②新車減産の影響を受け、カーエレクトロニクスやアクセサリーは低調。③車買取・販売は、業販や中古車販売が好調で、大幅伸長した前年同月を上回り、二桁伸長。④土日祝日日数、前年比-1。

【商品別】タイヤ・ホイール：タイヤ値上げによる駆け込み需要後の反動減が見込まれたが、戦略的な品ぞろえや販売促進により減少を抑え、タイヤは金額・数量ともに二桁伸長。同時購入のホイールも好調で、金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車の減産による影響でカーナビゲーション、ドライブレコーダーの需要が伸びず、カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：効果的な販売促進により、量り売りオイルやプライベートブランドオイルは引き続き好調で、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：販売促進の強化により堅調に推移し、特にナショナルブランドの高単価なバッテリーやアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額前年超え。**アクセサリー**：日よけアイテムなどが好調も、新車の減産にともなう車内小物やインテリアなどの低調により、金額前年割れ。**メンテナンス**：オイルフィルターやエアコンフィルターが堅調だったものの、ワイヤーが低調で、メンテナンス全体では金額前年割れ。**カーリペア**：洗車関連用品の不調などにより、金額前年割れ。**サービス**：車検・整備は車検対象台数の減少基調により金額前年割れも、タイヤの好調にともないタイヤ・ホイール工賃を中心に伸長し、サービス全体では金額前年超え。**車買取・販売**：中古車の単価上昇や買取台数の増加を背景に、業販と中古車販売が好調で、車買取・販売全体では大幅伸長した前年を上回り、金額が二桁伸長。

2022年6月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+1.5%、全店ベースで+1.5%。

売上増減要素：①新車の減産による影響でカーエレクトロニクスやアクセサリーは低調も、既存車のメンテナンス需要により、タイヤやオイル、バッテリーは堅調に推移。②車買取・販売は、業販が引き続き好調で、伸長した前年同月をさらに上回り二桁伸長。③土日祝日日数、前年比±0。

タイヤ・ホイール：タイヤ値上げによる需要減少が見込まれたが、戦略的な品ぞろえによりタイヤは金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車の減産による影響でカーナビゲーション、ドライブレコーダーの需要が伸びず、カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き好調で、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：ハイブリッド車やアイドリングストップ車用バッテリーが堅調で、金額前年超え。**アクセサリー**：日よけアイテムやクッションなどが好調も、客数減少と新車の減産にともなう車内小物やインテリアなどの低調により、金額前年割れ。**メンテナンス**：全国的に気温が高かったことによりエアコンフィルターが好調に推移し、加えてオイルフィルターやワイヤーも順調で、メンテナンス全体では金額前年超え。**カーリペア**：洗車関連用品の不調などにより、金額前年割れ。**サービス**：エアコン関連工賃を中心に伸長し、サービス全体で金額前年超え。車検・整備は車検対象台数の減少基調も、金額前年超え。**車買取・販売**：中古車の単価上昇や買取台数の増加を背景に、業販が引き続き好調で、車買取・販売全体では伸長した前年をさらに上回り、金額が二桁伸長。

2022年7月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+3.2%、全店ベースで+2.9%。

売上増減要素：①既存車に乗り続けるために必要な車両メンテナンス需要が高まり、タイヤ、オイル、バッテリーが好調。②車買取・販売は、業販の好調により二桁伸長が継続。③土日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール：既存車に乗り続けるために必要な消耗品としてタイヤが好調で、金額・数量ともに前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車の減産による影響を受けドライブレコーダーが低調も、カーナビゲーションは前年同水準まで回復し、カーエレクトロニクス全体では金額前年割れも回復基調。**オイル**：量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き伸長し、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：メンテナンス需要を背景に、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額前年超え。**アクセサリー**：日よけアイテムなどは堅調も、客数減少と新車の減産の影響によりインテリアが低調で、金額前年割れ。**メンテナンス**：オイル販売の好調にともないオイルフィルターが伸長し、全体で前年同水準を維持。**カーリペア**：洗車関連用品の不調などにより、金額前年割れ。**サービス**：タイヤやバッテリーなどの販売の好調にともない関連工賃が伸長し、サービス全体で金額前年超え。車検・整備は車検対象台数の減少基調も、金額前年超え。**車買取・販売**：中古車の平均単価が高騰するなか、買取台数の伸長により業販が引き続き好調。車買取・販売全体は前年を大幅に上回り、金額では二桁伸長を継続。

2022年8月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】 前年同月売上比は既存店ベースで+6.8%、全店ベースで+6.8%。

売上増減要素：①今期二度目のタイヤ値上げを控えたなか、戦略的な販売促進を実施したことなどにより、値上げ前の駆け込み需要を獲得し、タイヤ・ホイールが二桁伸長。②3年ぶりに行動制限がないなかでの帰省やロングドライブ需要の増加に加え、既存車に乗り続けるために必要な車両メンテナンスとして、オイルやバッテリーが好調。③車買取・販売は、業販の好調により二桁伸長が継続。④土日祝日日数、前年差異-1。

【商品別】 **タイヤ・ホイール**：5月に続く9月のタイヤ再値上げを背景に、値上げ前に実施した販売促進策が奏功し、タイヤ・ホイールは金額・数量ともに二桁伸長。**カーエレクトロニクス**：長期化する新車減産の影響によりドライブレコーダーやカーナビゲーションが低調で、カーエレクトロニクス全体では金額前年割れ。**オイル**：帰省需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き伸長し、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：既存車に乗り続けるために必要なメンテナンスとしてハイブリッド車やアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額二桁伸長。**アクセサリー**：日よけアイテムなどは前年並みに推移も、客数減少と新車減産の影響により車内小物やインテリアが低調で、金額前年割れ。**メンテナンス**：オイル販売の好調にともないオイルフィルターが伸長し、メンテナンス全体で前年同水準を維持。**カーリペア**：洗車関連用品などが不調で、金額前年割れ。**サービス**：タイヤ販売の好調にともないタイヤ・ホイール工賃が伸長。加えて、エアコン関連工賃も伸長し、サービス全体で金額前年超え。車検・整備は車検対象台数の減少基調も、金額前年超え。**車買取・販売**：新車減産を背景に中古車の平均単価が高騰するなか、買取数量の伸長により業販が引き続き好調。車買取・販売全体で金額二桁伸長を継続。

2022年9月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】 前年同月売上比は既存店ベースで+3.1%、全店ベースで+2.8%。

売上増減要素：①タイヤ値上げ後の反動減が懸念されたものの、戦略的な販売促進などにより、タイヤ・ホイールは金額前年超え。②新車減産の影響を受け、カーエレクトロニクスやアクセサリーは低調も、既存車に乗り続けるために必要な車両メンテナンスとしてオイルやバッテリーが好調。③車買取・販売は、業販の好調により二桁伸長が継続。④土日祝日日数、前年差異±0。

【商品別】 **タイヤ・ホイール**：タイヤ値上げによる駆け込み需要後の反動減が懸念されたが、戦略的な品ぞろえや販売促進が奏功し、タイヤ・ホイールとともに金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：長期化する新車減産の影響によりドライブレコーダーやカーナビゲーションが低調で、カーエレクトロニクス全体では金額前年割れ。**オイル**：量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き伸長し、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：既存車に乗り続けるために必要なメンテナンスとしてハイブリッド車やアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額・数量ともに前年超え。**アクセサリー**：客数減少と新車減産の影響により低調で、金額前年割れ。**メンテナンス**：オイルフィルターやワイパーが好調だったことにより、メンテナンス全体で前年同水準を維持。**カーリペア**：洗車関連用品などが不調で、金額前年割れ。**サービス**：車検・整備が好調に推移したことに加え、タイヤ・ホイールやバッテリーなどの交換工賃を中心に伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：新車減産を背景に中古車の平均単価が高騰するなか、買取数量の伸長により業販が引き続き好調。車買取・販売全体で金額二桁伸長を継続。

2022年10月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】 前年同月売上比は既存店ベースで+6.9%、全店ベースで+6.5%。

売上増減要素：①既存車に乗り続けるために必要な車両メンテナンス需要により、オイル、バッテリーが好調。②車検対象台数の増加を背景に、車検・整備が好調。③車買取・販売は、業販が好調に推移し二桁伸長が継続。④土日祝日日数、前年差異+1。

【商品別】 **タイヤ・ホイール**：既存車に乗り続けるために必要な消耗品として夏タイヤが堅調なことに加え、全国的に気温が下がったことにより冬タイヤも堅調に推移し、タイヤ、ホイールともに金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車減産による影響を受けカーナビゲーションは低調も、ドライブレコーダーは前年同水準まで回復し、カーエレクトロニクス全体では回復基調。**オイル**：既存車のメンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き伸長し、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：既存車のメンテナンス需要により、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額・数量ともに前年超え。**アクセサリー**：新車減産による影響を受けたものの、インテリアが前年同水準まで回復するなど、アクセサリー全体で回復基調。**メンテナンス**：オイルフィルターやワイパーが好調で金額前年超え。**カーリペア**：洗車関連用品が低調で前年割れも回復基調。**サービス**：タイヤ・ホイールやバッテリーなどの交換工賃が好調なことに加え、車検・整備が二桁伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：新車減産を背景に中古車の平均単価が高騰するなか、業販が好調。車買取・販売全体で二桁伸長を継続。

2022年11月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】 前年同月売上比は既存店ベースで+4.0%、全店ベースで+4.4%。

売上増減要素：①既存車に乗り続けるために必要な車両メンテナンス需要により、タイヤやオイルが堅調に推移。②新車の生産が回復する中、カーエレクトロニクスは回復基調。③車買取・販売は、業販に加え新車の小売が好調に推移し二桁伸長。④土日祝日日数、前年差異±0。

【商品別】 **タイヤ・ホイール**：メンテナンス需要を背景に夏タイヤが堅調。スタッドレスタイヤは寒冬であった前年並みに推移した結果、タイヤ・ホイールは金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車の生産が復調に向かう中、ドライブレコーダーやカーナビゲーションの需要が回復し、カーエレクトロニクス全体は回復基調。**オイル**：既存車のメンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが堅調で、金額前年超え。**バッテリー**：平年並みに推移したものの、前年の寒冬による反動で金額前年割れ。**アクセサリー**：客数減少に伴い車内小物やインテリアが低迷し、アクセサリー全体で金額前年割れ。**メンテナンス**：タイヤチェーンや冬用ワイパーなどの冬季用品が平年並みに推移したものの、前年の寒冬による反動で金額前年割れ。**カーリペア**：洗車関連用品が低調で金額前年割れ。**サービス**：タイヤ、カーエレクトロニクスなどの交換工賃が堅調なことに加え、車検対象台数の増加を背景に車検・整備が伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：引き続き業販が好調なことに加え、新車の小売も好調。車買取・販売全体で二桁伸長を継続。

2022年12月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+4.2%、全店ベースで+4.5%。

売上増減要素：①12月下旬の気温低下を背景にスタッドレスタイヤとバッテリーの需要が増加し、国内売上高は前年超え。②車買取・販売は小売、業販ともに好調に推移し二桁伸長。③土日祝日日数、前年差異±0。

【商品別】**タイヤ・ホイール**：年末の帰省などによる車両メンテナンス需要に加え、12月下旬の気温低下によりスタッドレスタイヤが堅調に推移した結果、タイヤ、ホイールともに金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：10月以降回復基調であった新車生産台数が、12月で再び前年を下回った影響により、ドライブレコーダーが低調でカーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：車両メンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが引き続き伸長し、金額前年超え。**バッテリー**：12月下旬の気温低下により、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に好調で、金額前年超え。**アクセサリー**：客数減少に伴い車内小物やインテリアが低迷し、アクセサリー全体で金額前年割れ。**メンテナンス**：タイヤチェーンや冬用ワイヤーなどの冬季用品が平年並みに推移したもの、前年の寒冬による反動で金額前年割れ。**カーリペア**：洗車関連用品が低調で、カーリペア全体で金額前年割れ。**サービス**：タイヤ・ホイールやバッテリーなどの交換工賃が好調なことに加え、車検対象台数の増加を背景に車検・整備が伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：中古車の平均単価が高騰するなか、業販が好調。車買取・販売全体で二桁伸長。

2023年1月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+3.0%、全店ベースで+3.4%。

売上増減要素：①1月下旬の気温低下を背景に、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどの冬季用品の需要が高まり、国内売上高は前年超え。②車買取・販売が二桁伸長。③土日祝日日数、前年差異±0。

【商品別】**タイヤ・ホイール**：スタッドレスタイヤが寒冬であった前年並みに推移したことにより、夏タイヤも堅調に推移し、タイヤ、ホイールともに金額前年超え。**カーエレクトロニクス**：新車の生産台数は回復基調にあるものの、コロナ禍前と比較し低水準で推移している影響により、ドライブレコーダーなどが低調。カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：車両メンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが伸長し、金額前年超え。**バッテリー**：ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に前年同水準で推移。**アクセサリー**：客数減少に伴い車内小物やインテリアが低迷し、アクセサリー全体で金額前年割れ。**メンテナンス**：1月下旬の気温低下により、タイヤチェーンや雪用ワイヤーなどの冬季用品が好調に推移し、メンテナンス全体で金額二桁伸長。**カーリペア**：洗車関連用品が低調で、カーリペア全体で金額前年割れ。**サービス**：タイヤ・ホイール交換工賃や車両診断工賃などが好調なことに加え、車検対象台数の増加を背景に車検・整備も伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：業販が好調なことに加え、小売も堅調。車買取・販売全体で二桁伸長。

2023年2月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+0.3%、全店ベースで+0.6%。

売上増減要素：①既存車のメンテナンス需要を背景に、オイルは二桁伸長。②タイヤ、バッテリーは、前年二桁伸長の反動で金額前年割れしたものの、平年並みに推移。③車買取・販売は、業販、小売ともに二桁伸長。④土日祝日日数、前年差異-1。

【商品別】**タイヤ・ホイール**：夏タイヤが好調で平年並みに推移したものの、前年二桁伸長した反動により金額前年割れ。**カーエレクトロニクス**：新車の生産台数は回復基調にあるものの、コロナ禍前と比較し低水準で推移している影響により、ドライブレコーダーなどが低調。カーエレクトロニクス全体で金額前年割れ。**オイル**：既存車のメンテナンス需要を背景に、量り売りオイルやプライベートブランドオイルが好調で、金額・数量ともに前年超え。**バッテリー**：アイドリングストップ車用バッテリーが堅調で平年並みに推移したものの、前年二桁伸長した反動により金額前年割れ。**アクセサリー**：新車生産台数の回復を背景にインテリアが堅調で、アクセサリー全体は前年同水準で推移。**メンテナンス**：オイルフィルター やエアコンフィルターは好調に推移したものの、タイヤチェーンが前年大幅伸長した反動により、メンテナンス全体で金額前年割れ。**カーリペア**：洗車関連用品が堅調で、カーリペア全体で金額前年超え。**サービス**：オイル交換工賃や車両診断工賃などが好調なことに加え、車検対象台数の増加を背景に車検・整備も伸長し、サービス全体で金額前年超え。**車買取・販売**：業販、小売ともに好調に推移し、車買取・販売全体で二桁伸長。